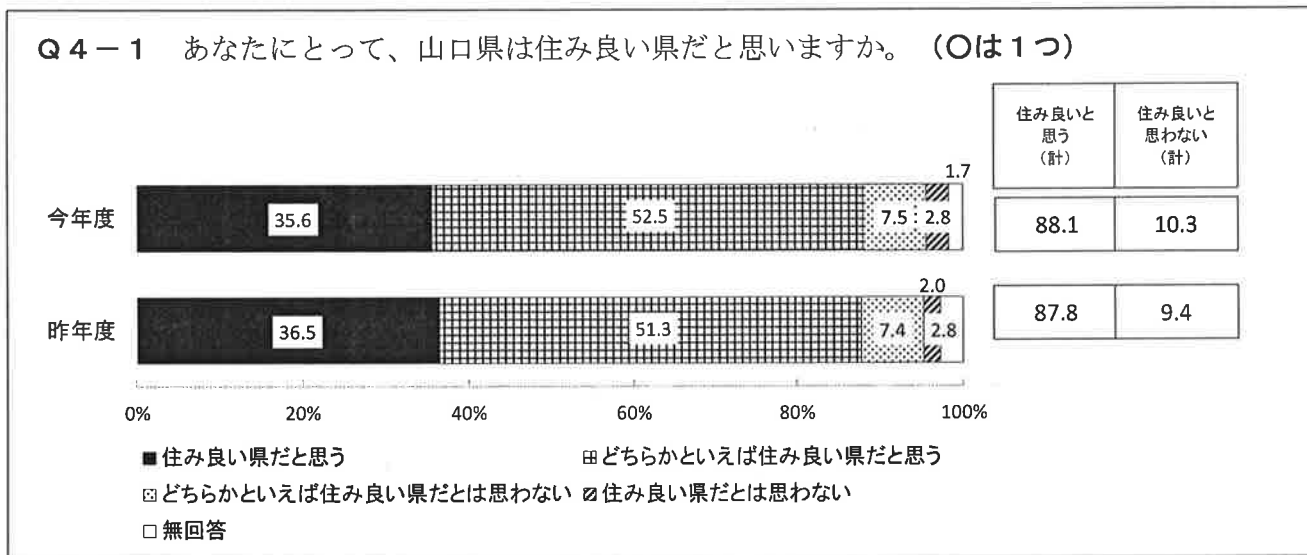


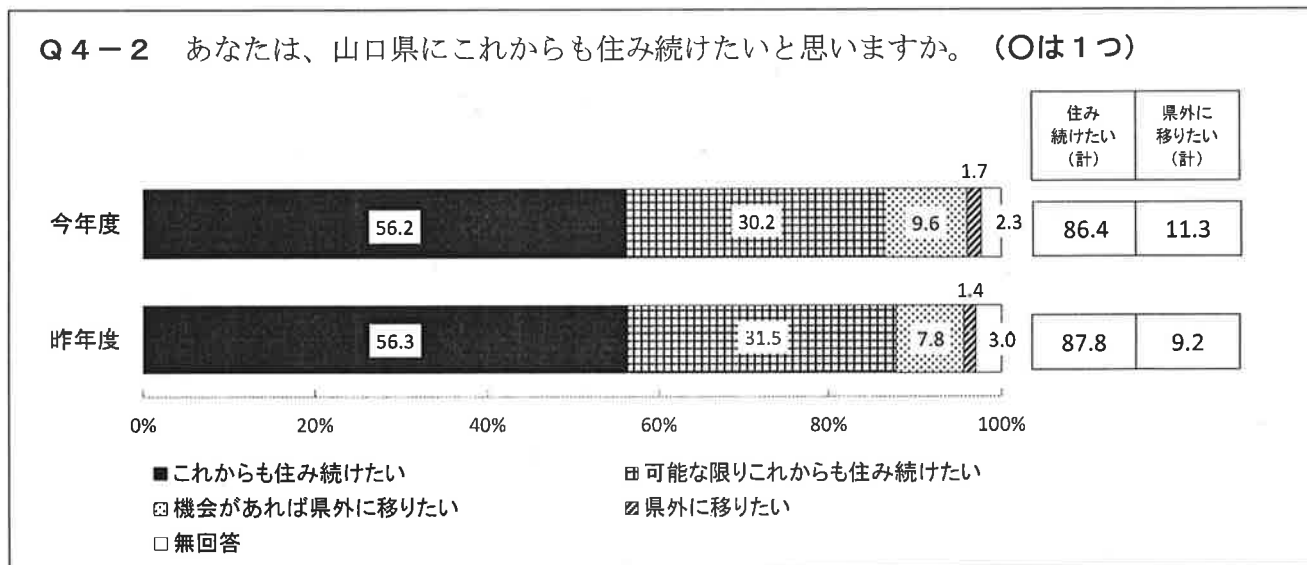
4. 県の取組に対する実感

4-1. 山口県の住み良さ



山口県の住み良さについて、「住み良い県だと思う」と「どちらかといえば住み良い県だと思う」を合わせた『住み良いと思う(計)』は88.1%となっており、昨年度と比較すると、0.3ポイント上昇し、引き続き約9割の高水準にある。

4-2. 今後の山口県への居留意向

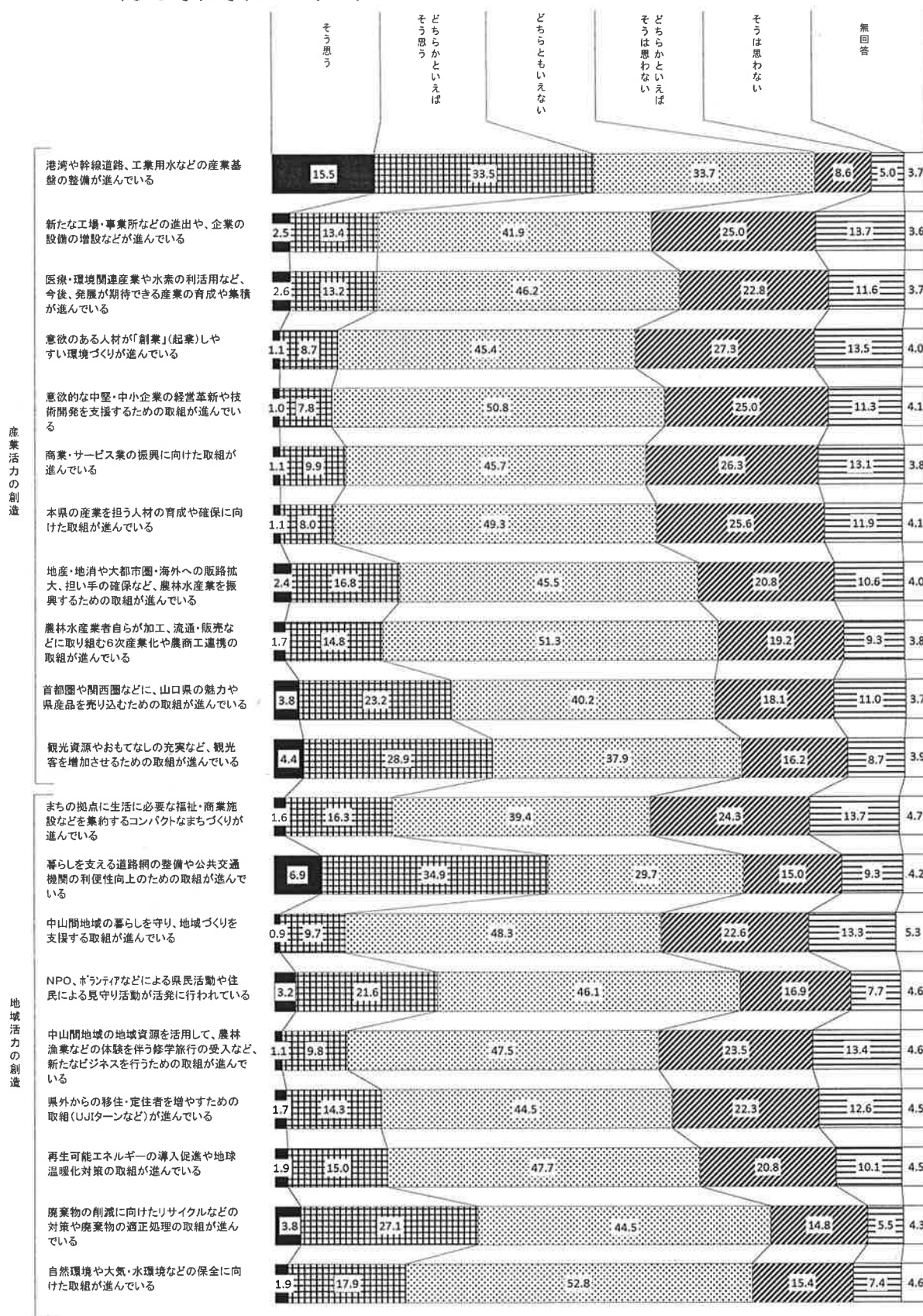


今後の山口県への居留意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい(計)』は86.4%となっており、昨年度と比較すると、1.4ポイント低下しているものの、依然9割近い高水準にある。

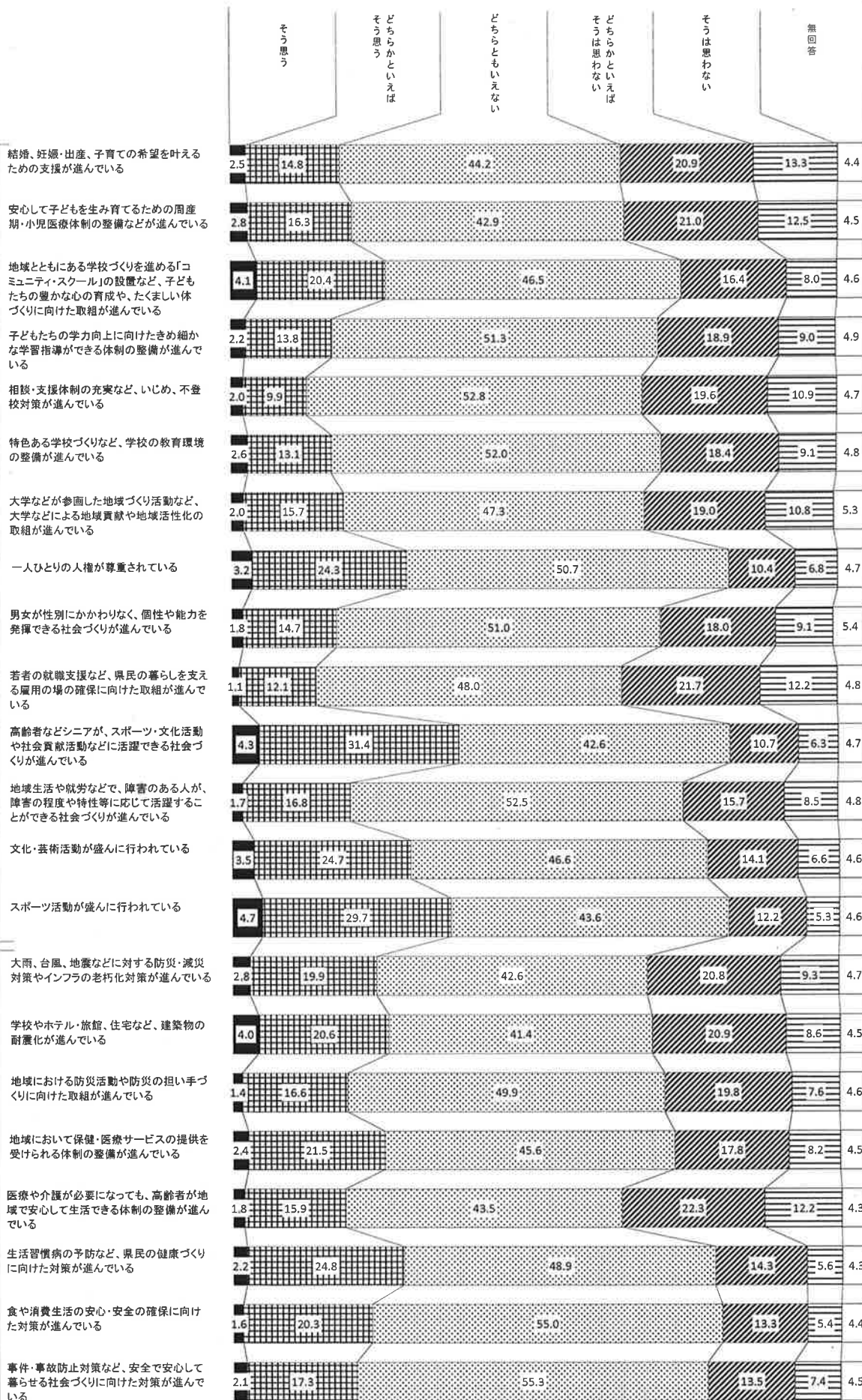
4-3. 県の取組に対する実感

Q4-3 チャレンジプランに基づいて取り組んでいる次の各項目におけるあなたの実感についておたずねします。いずれか1つを○で囲んでください。

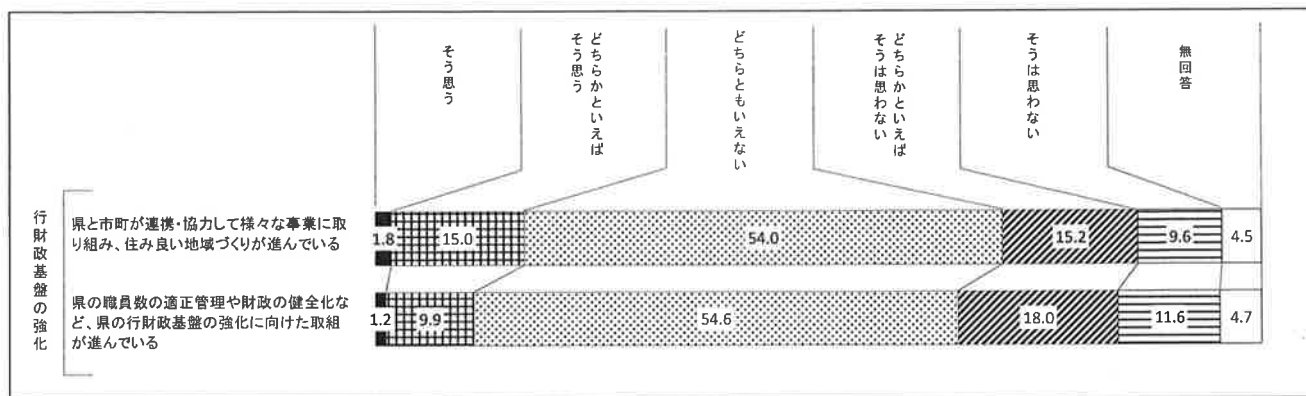
(○はそれぞれ1つずつ)



人材
活力の
創造



安心・安全の確保



県の取組に対する実感について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う(計)』の割合は、【産業活力の創造】分野の「港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる」(49.0%)、【地域活力の創造】分野の「暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上のための取組が進んでいる」(41.8%)、【人材活力の創造】分野の「高齢者などシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍できる社会づくりが進んでいる」(35.7%)などで高くなっている。

一方、「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた『思わない(計)』の割合は、【産業活力の創造】分野の「意欲のある人材が「創業」(起業)しやすい環境づくりが進んでいる」(40.8%)、「商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる」(39.4%)、「新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる」(38.7%)などで高くなっている。